

## 平成18年度「児童福祉週間」の標語について

平成18年度第60回「児童福祉週間」の標語を全国募集した中から主催者で選考した結果、次の作品が平成18年度第60回「児童福祉週間」の標語と決定いたしました。

最優秀作品（1作品）

大切だよ 信らいすること されること

（<sup>しぶや</sup>渋谷 さりさん 9歳 埼玉県）

入選作品（14作品）

○あなたも わたしも だいじ だいじ <sup>まつがえけいか</sup>（松枝恵華さん 5歳 広島県）

○未来地図 いろんな子供が 描く道 <sup>むらおかあみ</sup>（村岡麻見さん 14歳 東京都）

○ささえよう 小さな子どもの 大きな未来 <sup>よしかわしゅうへい</sup>（吉川修平さん 15歳 滋賀県）

○こどもたち ひとり一人が 未来の主役 <sup>ごとうじゅん</sup>（後藤順さん 52歳 岐阜県）

○きいてぼくのゆめ きかせてきみのゆめ <sup>ならつよし</sup>（奈良剛志さん 7歳 東京都）

○みんなで力をあわせれば 未来のかけはしつながるよ  
<sup>はがゆうや</sup>（羽賀優也さん 8歳 新潟県）

○わたしならできるよね！！ 小さな努力かなうゆめ  
<sup>ふじたゆうこ</sup>（藤田侑子さん 8歳 新潟県）

- 笑顔はね 心と心をつなぐもの (林<sup>はやし</sup>奈緒美<sup>なおみ</sup>さん 10歳 山口県)
- すてきだね みんなちがう ゆめの地図 (佐古<sup>さこ</sup>璃保<sup>りほ</sup>さん 7歳 山口県)
- わらう なく また あしたがんばる (乃一<sup>のいち</sup>ほのか<sup>ほのか</sup>さん 7歳 和歌山県)
- だいじょうぶ! しっぱいしても まえすすもう  
(長崎<sup>ながさき</sup>耕作<sup>こうさく</sup>さん 5歳 島根県)
- みんなの笑顔 未来につなげ (神川<sup>かみかわ</sup>洸基<sup>こうき</sup>さん 11歳 広島県)
- つないでいますか 子どもの手 心のきずな 地域の輪  
(中西<sup>なかにし</sup>光子<sup>みつこ</sup>さん 58歳 大阪府)
- ひとりひとりが主人公 ひとりひとりが大事なひとり  
(野村<sup>のむら</sup>裕子<sup>ゆうこ</sup>さん 47歳 秋田県)

## 1 趣旨

子どもたちが健やかに育つこと、これは社会の宝である子どもたちに対する国民全体の願いであり、すべての子どもが家庭や地域において、豊かな愛情に包まれながら、夢と希望をもって、未来の担い手として、個性豊かに、たくましく育っていきけるような環境・社会を作っていくことが重要です。

このため、政府では、平成16年12月に「子ども・子育て応援プラン」を策定し、平成21年度までの5年間に、すべての子どもと子育てを大切にする取り組みを進めています。

また、こうした社会づくりを大人任せにするのではなく、どのような社会が理想なのか、子どもたちの1人1人がそれぞれの意志で新しい未来を築いて行こうとする取り組みを進めていくこと、そして、それを応援する環境を整備していくことも、求められています。

こうした中、子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間（5月5日～11日予定）」と定めて、児童福祉の理念の普及・啓発のための各種事業及び行事を行っていますが、特に、平成18年度は、児童福祉週間が制定されて60周年の節目に当たることから、「次世代を担う子どもたちからの発信」をテーマとして、新たな取り組みを進めていくこととしており、その象徴となる標語の公募を行いました。

## 2 主催者

厚生労働省、(財)こども未来財団、(社福)全国社会福祉協議会

3 応募期間

平成17年10月6日～11月30日

4 応募総数

全国から5,466作品の応募がありました。

5 表彰

今回最優秀作品に選定された方には、児童福祉週間の中央行事「こいのぼり掲揚式」において、厚生労働大臣から表彰状及び記念品が贈呈される予定です。